

ハローキャリアワーク通信



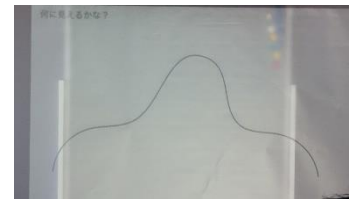
松陰会館は、家庭にガスを届けたり、リフォームしたり、住まい探しする手伝いをしたりしている会社です。世田谷の“ひと”や“まち”に欠かせない存在でありたいという想いから、街の魅力発信などの取り組みをしている会社でもあります。今回、みんなが住みたくなり20・30年後の未来のまち、住んでいる人が「楽しく、快適に暮らせるまちのアイデアを考える」という取り組みを行いました。

今回は12名、3班編成で行うことになりました。初めに事業推進担当課杉本係長（通称：ポリ）から開催の主旨と諸注意があり、その後松陰会館社長の佐藤様が「みなさんは今日1日『松陰会館の社員』として、働いてもらいます」と話され、今日の取り組みの流れを説明されました。



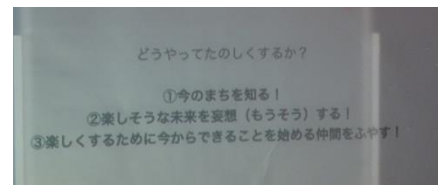
今日は、主に松陰神社のまちを知り、「松陰神社のまちはこんなまち」と3班でまとめ、発表するという内容でした、

各自の簡単な自己紹介の後、1枚の模様（絵）を見て、何に見えるかを答えるアイスブレイクを行い、「正解も間違いもない」という回答の仕方といくつも短時間で発想すること（とても重要）の体験をして、取り組みの姿勢を作りました。そして、班ごとに松陰神社の周辺の探索に出かけました。3つの班はそれぞれの話し合いで決めた方向から街を歩き始めました。



ある班は、東に行き、松陰神社商店街を南に下り、世田谷通りを西に向かい、区役所通りを北上し、若林公園前を通り戻ってきました。また他の班は、北上して松

陰神社の境内に入り、お参りし、近くの商店でインタビューを行い、子どもに人気の商品、大人の人気商品など伺ったようです。さらに、他の班では、車道がVの字に傾斜していることを見つけ、雨水がたまりにくい仕組みや建物の高さの変化（南側と北側）に気づいた班もあったようです。



各班戻ってからは「松陰神社前はこんなまち」と題して、付箋紙を使い模造紙にまとめ、発表しました。発表の仕方でも1人・班全員・インタビュー方式など様々でした。次回7月6日には未来のまちのアイデア出しをします。以下取組の様子です。



た。発表の仕方でも1人・班全員・インタビュー方式など様々でした。次回7月6日には未来のまちのアイデア出しをします。以下取組の様子です。

